

在宅療養において活用が想定される主な情報共有ツール

	共有する内容	From	To	ルール 確認済	具体的なツール	連携のイメージ
退院時	入院から退院までの経過、看護上の問題点ほか申し送り	MSW 病棟看護師	ケアマネ	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携室相談表 (備前病院)</li> <li>・介護支援連携指導書 (各病院)</li> <li>・看護要約 (各病院)</li> </ul>	
入院時	入院前の生活状況、世帯の状況、介護サービス、ADL等	ケアマネ	MSW 病棟看護師	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時情報提供書 (備前病院)</li> </ul>	
在宅	<b>基本情報</b> (病名、医療行為、服薬、要介護認定、ADL、住居、家族状況ほか)	ケアマネ	多職種	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントシート (全社協・介護支援専門員協会ほか)</li> <li>・連携シート「むすびの和」(岡山プライマリ・ケア学会)</li> </ul>	
	<b>課題分析</b> (本人の希望や目標を達成のために解決すべき課題、特筆すべき事項など)	ケアマネ	多職種	—	"	
	療養中の気づきや申し送り、意見等	多職種	多職種	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携シート「むすびの和」(岡山プライマリ・ケア学会)</li> <li>・<u>ケアキャビネット</u></li> <li>・自宅の連絡ノート</li> </ul>	

在宅期間の情報共有ツールの実態(活用に関するアンケート結果)

	共有する内容	From	To	ルール 確認済	具体的なツール	活用の状況に関するアンケート結果 (H29.1.13 市内6事業所ケアマネ 12名)
在宅	<b>基本情報</b> (病名、医療行為、服薬、 要介護認定、ADL、住居、 家族状況ほか)	ケアマネ	多職種	—	・アセスメントシート(全社協・ 介護支援専門員協会ほか) ・連携シート「むすびの和」(岡 山プライマリ・ケア学会)	Q1 対象者の基本情報や課題分析(アセスメント)はどの様式を利用しているか。 ・全社協 <u>5</u> ・事業所独自の様式 <u>7</u> Q2 Q1で作成した書類を情報提供しているか ・提供している <u>11</u> ・提供していない <u>1</u> ①時期：・新規相談時 <u>2</u> ・ケアプラン作成(サービス調整)時 <u>9</u> ②誰に：・主治医 <u>2</u> ・薬局 <u>2</u> ・サービス提供者全員 <u>9</u> ・サービス提供者の一部 <u>2</u> ③何を：・基本情報 <u>8</u> ・基本情報+課題分析 <u>2</u> ・基本情報+その他 <u>1</u> ④どのように：・文書 <u>9</u> ・文書+電子メール・FAX 併用 <u>2</u> ⑤書類を更新する場面： ・認定更新時 <u>2</u> ・区分変更時 <u>2</u> ・サービス変更時 <u>3</u> ・別様式で更新 <u>1</u> ・更新なし <u>6</u> ・その他 <u>1</u> (状況、容態の変化)
	<b>課題分析</b> (本人の希望や目標を達成のために解決すべき課題、特筆すべき事項など)	ケアマネ	多職種	—	〃	Q3 対象者の自宅に連絡帳やノートなどの伝言板を ・ケースにより置いている <u>4</u> ・置いていない <u>8</u> Q4 主治医が閲覧することを前提にした情報共有シートの統一様式を定めることについて ・賛成 <u>2</u> ・反対 <u>0</u> ・どちらともいえない <u>7</u> ・今後も今までの様式を使うと思う <u>3</u>
	療養中の気づきや申し送り、意見等	多職種	多職種	—	・連携シート「むすびの和」(岡 山プライマリ・ケア学会) ・ケアキャビネット ・自宅の連絡ノート	Q3 対象者の自宅に連絡帳やノートなどの伝言板を ・ケースにより置いている <u>4</u> ・置いていない <u>8</u> Q4 主治医が閲覧することを前提にした情報共有シートの統一様式を定めることについて ・賛成 <u>2</u> ・反対 <u>0</u> ・どちらともいえない <u>7</u> ・今後も今までの様式を使うと思う <u>3</u>